

令和 6 年度第 4 回瑞浪市地域公共交通協議会 会議録

会議の日時	令和 7 年 1 月 29 日（水）14 時 00 分～
会議の場所	瑞浪市役所 4 階全員協議会室
出席委員	出席委員 17 名 勝 康弘委員、磯部 友彦委員、下平 真一郎委員、伊藤 康浩委員、 二村 光太郎氏（代理）、平田 宏保委員、亀山 鉄也委員、木村 治史委員、 藤田 明博氏（代理）、豊田 智隆委員、永井 泰孝委員、山田 和洋委員、 中村 鈴彦委員、可知井 大三委員、浅井 誠委員、鈴木 創造委員、 中村 恵嗣委員
事務局	足立 寛聡、坂崎 慎一郎、小木曾 なつ
瑞浪市観光協会	日比野 智美
委託業者	ランドブレイン株式会社岐阜事務所

1. 開会

司会（事務局）

定刻となりましたので、令和 6 年度第 4 回瑞浪市地域公共交通協議会を始めます。私は、本日の司会を務めさせていただきます、商工観光課の足立です。よろしくお願いいたします。本日は AI オンデマンド交通導入検討事業の委託業者であるランドブレイン株式会社も今回同席しておりますのでご承知おきください。

それでは最初に、本日の資料の確認です。事前にお配りしました次第を修正していますので、次第の修正版、出席者名簿、資料 10 瑞浪市内にある恵那市自主運行バス停留所の移設及び名称変更について、前回可知井委員が配付されました資料「陶町民にとって現在最も良いと考えられる交通システムの組み合わせの提案」の差し替え分です。次に事前にお配りした資料の確認です。資料 1 コミュニティバス運行内容変更案、資料 2 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価、資料 3 移動円滑化適用除外車両の導入について、資料 4 観光協会のデマンド交通の資料が 6 つ、資料 5 稲津地区及び上山田地区における移動手段の方向性、資料 6 陶地区デマンド交通導入説明会の結果報告について、資料 7 デマンド交通の出張乗り方教室アンケート結果、資料 8 瑞浪市内の公共交通状況について、資料 9 令和 3 年度～令和 5 年度運転免許証自主返納支援制度の実績、参考資料として、利用者アンケート結果、地元要望とりまとめ結果、令和 6 年度 瑞浪市コミュニティバス・デマンド交通「いこ Car」運行時刻表です。そのほかに A3 判の用紙として可知井委員からご提供がありましたので配布しています。資料確認は以上です。過不足はありませんでしょうか。

2. 会長あいさつ

司会（事務局）

それでは次第の 2 に移ります。瑞浪市地域公共交通協議会会長の勝副市長よりごあいさつ申し上げます。

会長（勝委員）

本日は第 4 回瑞浪地域公共交通協議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

日頃は瑞浪市政にご理解とご協力をありがとうございます。本協議会は地域の実情に即した移動サービスを協議する場です。現在、市では、来年度 10 月からのコミュニティバス及び北部デマンド交通、陶デマンド交通の運行事業者を決めるプロポーサルの公募を開始しました。事業者からの提案を通じて地域に必要な交通サービスが提供できればと思います。今回は来年度のコミュニティバス運行

内容の変更など3件の協議事項と、報告事項として観光デマンド交通の実績報告など6件の報告をして、皆さんの意見をいただきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

議題に入る前に、本日の会議の議長の選任を行いたいと思います。議長は瑞浪市地域公共交通協議会設置要綱の規定により、会長が指名するものが議長となるとありますので、議長は副会長である磯部委員を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

皆様の慎重審議をお願いいたしまして私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

司会（事務局）

ありがとうございました。本日は名簿5番、岐阜県都市建築部都市交通公園交通局公共交通課の城戸協委員の代理として二村様、名簿の9番、岐阜県タクシー協会の川松委員の代理として藤田様にご出席をいただいております。

本日の会議の成立についてですが、委員19名中、代理出席を含めて17名のご出席がございました。設置要綱第6条第2項中に、委員の過半数の出席の規定がございますので、本会議が成立していることをご報告させていただきます。

本会議は設置要綱第6条第6項の規定により、原則として公開となっておりますのでご承知おきください。

3. 協議事項について

司会（事務局）

それでは次第の3、協議事項に移ります。

ここからは、先ほど勝会長から議長のご指名がありました、磯部委員に議長をお願いします。磯部議長、議事の進行をよろしくお願いいたします。

議長（磯部委員）

それでは、ご指名を頂きましたので、議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。なお、本日の会議の議事録署名を瑞浪市土木課長の中村委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

最初に協議事項の1番目です。「瑞浪市コミュニティバス運行内容変更（案）について」事務局より説明をお願いいたします。

事務局

（協議事項（1）「瑞浪市コミュニティバス運行内容変更（案）について」資料に基づき説明。）

議長（磯部委員）

ありがとうございます。コミュニティバスの1つのバス停名と、時間を修正するとのことでした。これについて委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

下平委員

萩原線の仲ヶ平のスタートを5分繰り上げるとのことなので、それ以外のバス停も5分繰り上げるのでしょうか。瑞浪の到着まで5分繰り上げるという理解でいいのでしょうか。

事務局

路線のすべてのバス停の時刻が 5 分繰り上がります。

議長（磯部委員）

事務局からは、1 つのバス停ではなく、路線全体を直すという提案でいいでしょうか。最初のバス停を 5 分繰り上げて、それに応じて全部修正するとのことですか。

他はいかがでしょうか。よろしいですか。では、案について原案通り承認することでもいいでしょうか。では全会一致で承認したいと思います。

続きまして協議事項 2「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）について」事務局より説明をお願いいたします。

事務局

（協議事項（2）「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）について」資料に基づき説明。）

議長（磯部委員）

ありがとうございます。毎年、補助金をもらっている関係で、うまくいっているのか、いっていないのか、うまくいっていない場合どこが問題なのか、評価をまとめたものです。こちらについて委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

下平委員

資料 2 の目標、効果、達成状況のところで 3 ルートが C 評価です。1 日 6 便を設定している中、どれも 2 便弱で目標達成しておらず、その対応として区長会で制度を PR などの記載があります。瑞浪市は交通事業者の理解のもと、前日予約で、予約がなければ車両をリリースする方式です。それについて、当日ぎりぎりの時間まで予約できるようにしてほしいなどの利用者の意見はあるのでしょうか。

事務局

後ほど報告事項で触れますが、利用している方の意見としては、「前日予約だと忘れてしまう、乗りたいときに乗りたい」という意見をいただいています。登録していない方については、そのような意見はなく、免許返納をした場合に利用したいとの意見がありました。利用した方からは、「特に 3 連休の場合は予約することを忘れてしまうので不便」という意見もありました。

議長（磯部委員）

供給側の課題としてどこまで頑張れるかの検討はしましたか。

事務局

AI オンデマンドシステムを市内のどこかの地域で導入する際には、前日ではなく当日予約も踏まえて導入を検討していきたいと考えています。

議長（磯部委員）

資料 2 の仕組みでは、今の仕組みで精一杯ということでもいいでしょうか。

他はいかがですか。これも承認事項で諮りたいと思います。案について原案通り承認することでもいいでしょうか。では全会一致で承認したいと思います。

続きまして協議事項 3「瑞浪市コミュニティバス車両の移動円滑化基準適用除外について」事務局より説明をお願いいたします。

事務局

それでは資料 3 をご覧ください。こちらは、現在コミュニティバスの運行事業者である平和コーポレーション株式会社所有の車両が老朽化したことに伴い、新規車両の導入に関して、移動円滑化適用除外申請についてご協議いただきます。なお、瑞浪市社会福祉協議会には新規車両導入に関してご承知いただいた旨文書にてご回答いただいております。概要につきましては、運行委託事業者の平和コーポレーション株式会社の山田社長よりご説明いただきます。

山田委員

乗合の車両については、多くの人が利用できるように、原則車椅子が乗る車両というのが法律上定められています。それぞれの地域において、適用除外の条件に該当する場合、申請をすることで車両の登録ができるという法律があります。瑞浪市内の場合は坂があつたり道が狭かつたり、また朝夕は子どもが乗るということもありスクールバスの役割もあります。通学する子どもが乗るため、席数の確保が必要であるため、現在適用除外されている車両で運行している状況です。

昨今、車両の生産が止まっており、生産されていなかった時期があつたので、手に入るまでが遅くなっています。2 番の DS2 という日野の車は、やっと生産が始まりましたので、すぐにお願ひできればと思っています。

トヨタのコンピューターについては、今年度の春頃、中古の車が出そうだということでした。その時からお願いをして、やっと当方に來たので登録の申請を行っていく状況です。2 月 1 日からトヨタのコンピューターの新車も生産の開始を始めるということが、先々週やっと決まりました。新車が手に入るまではまだまだ時間がかかるので、まずは老朽化を防ぐためにも、この 2 種類 3 台を入れ替えたいというお願いをしたいと思います。

またアンケートの方にも「ステップが出ない」といった意見があり、やはり古くなると部品がなくなるという問題もあるので、ご理解いただければと思います。よろしくお願いします。

議長（磯部委員）

ありがとうございます。いろいろ理由があり、適用除外をお願いしたいとのこと。これについて委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

これも承認事項で諮りたいと思います。案について原案通り承認することでいいでしょうか。では全会一致で承認したいと思います。

それでは協議事項はこれまでとさせていただきます。

4. 報告事項について

議長（磯部委員）

続きまして、報告事項 1「瑞浪市観光協会より観光デマンド交通の実績報告について」、瑞浪市観光協会より説明をお願いいたします。

観光協会

（報告事項(1)「瑞浪市観光協会より観光デマンド交通の実績報告について」資料に基づき説明。）

議長（機部委員）

ありがとうございます。「ムカオーcar」は中山道の宿場町をデマンド交通で繋ぐものです。復路便は当日予約もでき、帰るのが大変という方が利用したという状況だと思います。去年から今年にかけて、工夫されたと思います。これについて委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたらお願いします。いかがでしょうか。

木村委員

私も歩くのが好きで、妻籠や馬籠の有名なコースを歩きます。こちらは知名度があり、中津川駅から馬籠へのバス往復、妻籠に着いたら南木曽駅から戻ります。このような交通を踏まえて、知名度をどのように上げるかが大事だと思います。山登りもそうですが、一つを登ると次はあの山に登りたいなど踏破が目的となります。ここに着目して、街道や交通というピンポイントの観光PRではなく、岐阜県全体で中山道をPRしていく中に、そこへ行くための公共交通機関という位置付けで考えた方が、知名度は上がるのかと思いました。PRの仕方が大事だと思います。

議長（機部委員）

岐阜県全体での取り組みは考えていますか。または過去にありましたか。

観光協会

この事業も、岐阜県の観光資源活用課の補助金を一部活用しています。岐阜県の海外アカウントでも発信しており、課の力添えをいただいています。県で中山道全体の活性化を考えておりますが、瑞浪でも何か考えてほしい、とのことで、最終的には中山道全体に繋がっていきます。現在ちょうど2年目で、今後につきましてはお互いに知恵を出し合い、年明けから考え始めているところです。皆様のご意見を参考にして、次を考えていきたいと思っています。

議長（機部委員）

ありがとうございます。

二村氏

今回インバウンドの方の利用がなかったとのことですが、説明でコーディネーター団体は国内の移動込みで予定を組んで利用しているとのことでした。そうではない、個人のインバウンドの方はいらっしゃるものですか。

観光協会

直接のデータはありませんが、コーディネーターを介さずに個人的に歩いている方もいます。宿場に行くとき見かけます。そのような方についても、こちらの事業開始が9月16日からで、その1週間前から予約を開始しました。そうすると、海外から来る方が予約できるのは直前になってしまいます。海外から来る方ほど、ある程度の計画を立てていると思うので、今後もインバウンドの方に利用してもらえると、事業スタートや予約システムの開始の時期を、総合的に考えていかなければいけないと思っています。

二村氏

わかりました。数としてそのような方も結構いるのであれば、その方に届くような広報戦略もいると思います。もしコーディネーター同行の団体客が多いのであれば、コーディネートする事業者の方に向けた広報対策も効果的だと思います。

PR で有料記事をとられたとありますが、観光協会からお金をお支払いして記事を書いてもらっている事業ということでしょうか。

観光協会

有料記事広告など専門の事業者はたくさんあり、補助金も活用しながら広報事業の一環として行いました。専門性が高くデザイン性の優れた、プロが仕立てた記事でした。その事業者の会員様向けの形がメインになっています。そこから派生してインスタグラムなどに公開してもらい、事業者からは若年層からの閲覧履歴があったと報告を受けています。

二村氏

最初から若年層の方を狙っていたのか、全年齢層を狙っていたが結果的に若年層の方が見られていたのか、どちらですか。

観光協会

事業者との打ち合わせの中で、今までは年齢層が高めだと話が出ましたが、あえてインスタグラムの配信などでは、幅広く 18 歳～65 歳までの年齢層で設定しようということになりました。

予算の関係もありますが、愛知県などのポスティング的に人口の多いところや 19 号沿いなど、ある程度自治体をピックアップした上で配信しました。その中で、データが出てきたのは 20 代や 30 代の方が結構見ているとのことでした。中山道の写真も入れていたので、閲覧は 18 歳から 65 歳でしたが、その中でも 20 代や 30 代の方が結構見ているという報告でした。

議長（磯部委員）

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

資料の 4-4 で、11 月 2 日はイベントを予定していた日でしたが、大雨で中止となり残念だと思いました。もしイベントをやっていたら、どのような感触だったと思われますか。

観光協会

御嵩から細久手宿を歩くイベントでした。去年は、交通的に障害があるのではないかといった意見がありましたので、大湫宿、細久手宿を中心としたこちらのデマンドは運行しませんでした。

今年は運行したらどうかという意見もあり、運行予定としていましたが、雨のためイベントが中止となり、デマンドの方も予約ゼロでした。細久手と御嵩の間に 12 キロ少しありますので、それ以降の細久手、大湫間の 6.7 キロ近くを続けて歩かれる方がどれくらいいるかというのは興味がありましたが、データは取れませんでした。

議長（磯部委員）

そのようなイベントは引き続きやる予定ですか。中山道全体の横の繋がりも大事だという話がありましたので。

観光協会

御嵩町との連携もありますが、細久手宿と御嵩町とのウォーキングイベントは、今年度で終了と聞いています。

それも踏まえて商工観光課さんに相談していて、隣町との連携ができない状態なので、瑞浪市のみで大規模なイベントとなると人手が必要となり、今の時代なかなかできませんので、何か簡易的な歩くイベントができないかと模索している段階です。瑞浪の一番のポイントである琵琶峠や、その辺りだけでも歩けないだろうかと思っていて、公共交通にどう絡めるかは検討中です。

議長（磯部委員）

長い距離を歩くのが大変だったら短い距離でもいいし、いろんな仕掛けをやっていくのだと思います。瑞浪市が盛り上げて気軽に行けるような雰囲気を作っていくと、市民でも行ったことのない人が訪れるきっかけとなり、だんだんと盛り上がってくると思いますので、またいろんなアイデアを試していくといいかと思います。またいろんな手を考えていき、公共交通が必要なら、それを助けていく立場なのかと思います。

ありがとうございます。続きまして報告事項2について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

（報告事項（2）「稲津町地区及び上山田地区における AI オンデマンド交通導入検討事業の報告」について資料に基づき説明。）

議長（磯部委員）

ありがとうございます。ただいま事務局より報告事項2についての説明を受けました。これについて委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

二村氏

最後 12 ページの上山田地区における方向性案の中で、公共交通需要が少ないことから地域住民主体の対応に対して市が可能な範囲で支援するという部分が記載してあります。この地域住民主体の対応というのは具体的にどのようなものを想定していますか。

事務局

区長会や地域の街づくりでの買い物支援もしくは買い物に行きたいけれど行けない方を乗り合わせていく、そのようなことを想定しています。

二村氏

住民同士の乗り合わせということですか。市ではどのような支援を考えていますか。

事務局

具体的な支援方法についてはこれから検討していきます。上山田地区では、この2年ぐらいで2件ほど相談があったので、具体的な内容を聞きながら、できることを支援していきます。

議長（磯部委員）

ありがとうございます。他はいかがでしょう。地域事情を勘案しながら、考えていくことを継続していくということだと思います。

では次に、陶地区のデマンド交通導入説明会の結果報告について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（報告事項（3）「陶地区のデマンド交通導入説明会の結果報告」について資料に基づき説明。）

議長（磯部委員）

ありがとうございます。これについて何か意見はありますか。情報収集したとのことでした。よろしいですか。では次に、4について事務局よりお願いします。

事務局

（報告事項（4）「デマンド交通の出張乗り方教室の中間実績報告」について資料に基づき説明。）

議長（磯部委員）

ありがとうございます。これについて皆様からご発言ありますでしょうか。よろしいですか。では次に、5について事務局よりお願いします。

事務局

（報告事項（5）「瑞浪市内の公共交通状況について」資料に基づき説明。）

議長（磯部委員）

ありがとうございます。市内の公共交通ということで、主にタクシー、民間バス、コミュニティバス、デマンド交通の話がありました。それぞれこの数年間で変化があり、コロナという影響もありましたが、コロナ以前からいろんな動きがありましたので、いろいろと考えていく必要があります。こちらについて皆様からご発言ありますでしょうか。

山田委員

資料4ページのデマンド交通については、国庫補助のフィーダー補助金があるので、2ページのよう、委託料のところに補助金額を記載してもらえたらと思います。説明された7ページの30%の意味がわかりやすくなります。30%超えないと補助金がカットされて、市の実質の負担が増えていることが理解される資料になりますし、30%の意味を共有する必要がありますので、記載していただければと思います。

議長（磯部委員）

事務局、それはできますか。

事務局

承知しました。またホームページにも公開しますので、国庫補助の数値を入れた形で修正します。

議長（磯部委員）

ではそこを書き加えてください。他はいかがでしょうか。

下平委員

先ほどの補足です。30%を下回ると国の補助金が出なくなってしまうということで、全国統一の基準でやっています。地域の実情に合っているかどうかという問題があることは承知しており、申し訳

なく思っています。最初の議題のように、利用促進を図り、また 30% 超えたら補助金は復活しますので頑張ってもらいたいです。

議長（磯部委員）

他いかがでしょうか。もっと細かい情報がほしい等あれば、また事務局に問い合わせ、どこまで出せるかという相談をしてください。

では続きまして 6 について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（報告事項（6）「瑞浪市運転免許証自主返納支援制度実績について」資料に基づき説明。）

議長（磯部委員）

ありがとうございます。これも実績報告となりますが、何かご発言はありますか。

二村氏

どのような支援をしているのでしょうか。また、返納された方の大体どのくらいの割合でしょうか。

事務局

免許証を返納した 65 歳以上の市民を対象に、5,000 円相当の公共交通利用券を支援しています。コミュニティバス、デマンド交通やタクシー券、東鉄さんのバスチケットも含めて、市の方で用意して渡しています。返納者の数字を持っていないので、市の方で把握しているのは、自主返納支援制度を活用された方という答えになります。

二村氏

5,000 円の支援は、返された年度だけですか。その後はもうないですか。

事務局

1 回きりの支援です。

二村氏

わかりました。ありがとうございます。

議長（磯部委員）

他いかがでしょうか。

では続きまして 7 について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（報告事項（6）「瑞浪市内にある恵那市自主運行バス停留所の移設及び名称変更について」資料に基づき説明。）

議長（磯部委員）

この件についてご意見等がありますか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

報告事項は以上となります。

5. その他

議長（機部委員）

次に「その他」へ移りたいと思います。事務局から何かありますか。

事務局

事務局からはありません。

議長（機部委員）

最後に、委員の皆様からご意見、情報提供などがありましたら発言してください。

可知井委員

例えば免許返納事業について、最大の返納の支援は、高齢者の人が安心して移動できるという保証だと思います。「1回5,000円をもらったけど、返納しなければよかった」という声を、陶地区の方に何回も聞きました。前回、市が取ったアンケートの中に、「陶では免許を返納したら生きていけない」と実感を持つ方がたくさんいて、それが免許返納の一番の障害になっています。90歳になっても運転している方は、免許がなければ生きていけないと思っているし、実際に返納した人から、「返納しない方がいい、失敗した」という声を聞きます。「免許返納しても病院にも買い物にも行けるから、陶地区は大丈夫」というシステムを作らなければ、免許は返納できないと思っています。

今回、決定したことが、免許返納に繋がるのか疑問に思います。例えば、新たなデマンド交通で希望ヶ丘や細久手団地を回ったとしても、それで安心して免許返納ができるのでしょうか。点在しているバス停まで行くことのできない人たちにとって、本当にそれで行けるのでしょうか。

今回、小原の「おばら桜バス」の調査をしてきました。小原は2,000万円かけて町内の150ヶ所に小さなバス停を作って、ドア to ドアに近い形でやっています。2,000万円のお金は、終日2台の車と乗務員2人を常置して250日間動くというやり方です。例えば陶で、SKUを利用して時間を限って行った場合、今かかっている600万で何とか可能にならないでしょうか。ドア to ドアに近い形として、ごみ集積所を想定して調べたら150ヶ所ほどありました。利用者がそこまで出てきたら、または近いところまで迎えに行くようなシステムを作れば、高齢者が少しでも安心して暮らすことが可能になるのではないのでしょうか。そのような方法をもう少し考えることができればなと思います。

今回、市がこのような形にされたので、僕たちはボランティアを組んで、地域の方たちに無料でSKUまで送るというシステムをもうすぐ始めます。「保険は大丈夫か、何日稼働するか、一体誰がいつまでやれるのか」という課題があります。僕はやるつもりでいますが、もう70を超えました。自分はいあと5年ぐらいしかできません。5年後にボランティアがなくなった後、高齢者が安心して暮らせるかという自信はありません。ですが、少しでも実際に困ってみえる方を何とかしていく動きを始めます。本当はこれが公的に行われると、高齢者を守っていけるのではないかと考えています。

中でも何回か提案した東鉄バスについても、10年先まで東鉄さんがやってくれるのかという不安がすごくあります。東鉄さんがなくなったときに、代わりに市が高校生や高齢者の交通を守ってくれるようにやろうとしたら、どれだけ大きなお金を市が出さなくてはいけないのでしょうか。そのように考えると、200円化して恵那と一緒にあって高校生に利用してもらう方法をとることが、少しでも東鉄さんに長くやってもらえることに繋がるのではないかと僕は思います。そのような工夫と一緒に考えてもらいたいです。

今回最後のお願いは、何年か後にしっかりと見直しをしてもらいたいことです。数値目標として、例えば陶のデマンドは稼働率が3割いくのか疑問です。僕は3割どころか1割も難しいと思っています。3割いかないことが何年続いたらいつ見直すのでしょうか。東鉄バスがいよいよ廃線というときにどうするのかということを考えられるように、公共交通協議会でぜひやっていただけるとありがたいなと思います。よろしくお願いいたしますと思います。

議長（磯部委員）

ありがとうございます。今の発言に関連して何かご意見はありますか。事務局は引き続き検討ということでよろしいですか。他に委員の皆様からいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは協議事項、報告事項は以上となります。これにて議長をおりさせていただきます。委員の皆様には慎重審議をしていただきありがとうございました。これ以降は事務局にて進行をお願いいたします。

6. 閉会

事務局

磯部委員様、スムーズな議事進行ありがとうございました。また委員の皆様方には長時間にわたりご審議をいただきありがとうございました。

今年度の事業計画におきまして、第5回の協議会を3月に予定していましたが、協議事項などがすべて終了しました。第5回については書面をもって報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

委員の皆様におかれましては1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

これをもちまして、令和6年度第4回地域公共交通協議会を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

（15時30分閉会）

令和7年2月17日

議事録署名者 中村 恵嗣